

## 鶴岡市スポーツ強化後援会大会出場者激励金交付要綱

昭和 59 年 2 月 10 日基準施行  
昭和 61 年 4 月 1 日基準改正  
昭和 62 年 4 月 1 日基準改正  
平成 5 年 5 月 13 日全面改正  
平成 7 年 5 月 12 日一部改正  
平成 15 年 5 月 9 日一部改正  
平成 28 年 5 月 27 日一部改正  
平成 29 年 5 月 19 日一部改正

### 1. 趣 旨

市スポーツの競技力向上対策の一環として、国際大会や全国大会等に出場する選手等に対し、この要綱により激励金を贈り大会での活躍を期する。

### 2. 交付対象とする大会

#### (1) 国際大会

- ① オリンピック、世界選手権大会など日本代表として出場する大会
- ② アジア大会など地域を限定されるものや、ジュニア大会など年令制限のある場合も同様とする。
- ③ その他、上記に準ずると認められる大会

#### (2) 全国大会

- ① 国民体育大会
- ② 全日本選手権大会
- ③ 全国高等学校総合体育大会（同選手権大会・選抜大会も含む）
- ④ 全国中学校体育大会（同選手権大会等も含む）
- ⑤ スポーツ少年団や小学生の全国大会
- ⑥ その他、上記に準ずると認められる大会（その範囲については別に定める基準による）

#### (3) 東北大会

小学生を対象とする大会（地区或いは県予選を経て出場する場合）

### 3. 交付対象者

選手・監督・コーチ等として正式にエントリーされている者で、次のいずれかに該当する者

- ① 鶴岡市民
- ② 本市出身（非在住者）の高校生・大学生が、国体において本県選手団として出場する場合

- ③ 本市出身（非在住者）の高校生・大学生が、本県を代表して全国大会及び日本を代表して国際大会に出場する場合。
- ④ 本市出身（非在住者）の社会人が、日本を代表してオリンピックまたは世界選手権に出場する場合
- ⑤ 田川地区中体連・同高体連加盟校の生徒が、第２項（２）の ③・④ に該当する大会に出場する場合
- ⑥ 上記以外で会長が特に認めるもの

#### 4. 交 付 金 額

- ① 国際大会    その大会の規模・水準を勘案し、２万円～５万円の範囲で別に定める基準により交付する。
- ② 全国大会    ５，０００円
- ③ 東北大会    ３，０００円
- ④ 上記により難い場合は、会長が別に定める金額を交付することができる。

#### 5. 交 付 の 申 請

申請は、原則として大会開催期日の１０日前までに、所定の様式により、特定非営利活動法人鶴岡市体育協会加盟団体長名をもって行うものとする。また、申請団体がない等特別の理由がある場合は、会長が申請することができる。

#### 6. 交 付 の 決 定

申請があった場合は、鶴岡市スポーツ強化後援会において決定し、申請者宛交付する。

附 則    この要綱は平成２９年５月１９日から施行する。

激励金交付の対象とする国際大会及び交付金額について

激励金交付要綱第2項「(1) 国際大会」の対象とする競技大会及び第4項「①国際大会」の交付金額については下記の定めによることとし、JOC又は中央競技団体が日本代表として正規に派遣する者に対し交付するものとする。

記

1. 対象国際大会及び激励金交付額

- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| (1) オリンピック大会                     | 5万円 |
| (2) アジア大会                        | 3万円 |
| (3) ユニバーシアード大会                   | 3万円 |
| (4) 世界選手権大会                      | 3万円 |
| (競技別国際組織主催のカテゴリー制限のない唯一の最高世界大会)  |     |
| (5) ワールドカップ大会                    | 3万円 |
| (競技別国際組織主催のカテゴリー制限のない唯一の最高世界大会)  |     |
| (6) ジュニア世界選手権大会                  | 3万円 |
| (競技別国際組織主催のジュニア世代に制限した唯一の最高世界大会) |     |
| (7) その他会長が相当と認める国際大会             | 2万円 |

2. 運用

- (1) 1の(5)(ワールドカップ大会)の内、転戦する国際大会については最初の大会のみ激励金を交付するものとする。
- (2) 1の(7)(その他会長が相当と認める国際大会)に関しては、親善あるいは交流的な要素を持つ大会及び著しく限定的なカテゴリーの大会は対象としない。大会とは、日本を含む3カ国間以上の国際大会をいう。
- (3) パラリンピック大会等の障害者対象の国際大会については、1を準用する。
- (4) 原則として、同一年度における同一の者に対する激励金の交付は5回を限度とする。但し、1の(1)(オリンピック大会)については別枠として扱う。

平成 5 年 6 月 1 日 決裁

## 激励金交付の対象とする全国大会の範囲について

激励金交付要綱第 2 項中、(2) 全国大会、⑥にいう「上記に準ずると認められるもの」の範囲については、下記に定めるところによる。

### 記

1. 中央の競技団体が主催し、毎年回を追って開催されるものであること。
2. 出場選手又はチームの競技水準が相当高度であると認められるものであること。
3. 参加範囲は全国を対象とされていること。但し、その競技種目により東日本（西日本）大会が最高位とされているものについては、それを持って全国大会と見做す。
4. 出場資格が各都道府県（又は各地区）予選を経て出場権を得たものとされていること。或いは、一定の水準に達していることを要件とされているものであること。
5. 各都道府県の競技団体が単独（又は複数）で開催する大会や、記念行事的な大会、又、特定の産業や職業に従事する者のみを対象としているものは除外する。

### （附 記）

生涯スポーツやレクリエーションの振興を目的として、中高年層を対象に開催される全国大会については、特定非営利活動法人鶴岡市体育協会においてその内容を検討の上、適宜対処されることとなっている。